

「パンを水の上に投げよ」20161016

目標：9節を基に、各人に自由が与えられていると同時に責任を負っていることに気付かせ、1節から、私たちは御言によって生きる方角の示唆をいただけることを知る。

聖書箇所：伝道の書11：1-10 時間：10分

暗誦聖句：「あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである」（伝道の書11：1）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：本時の箇所は、各節の流れをあまり意識しないで、興味のある節だけ取り上げる形でも構わないだろう。立ち止まり、御言が今の自分に何を語っていると思うか、考えさせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>本日の箇所を一緒にまず読んでみましょう。</p> <p>御言葉を読んで、どんな感想を持ちましたか</p> <p>この伝道の書は、この世の繁栄を一身に体験したソロモン王が、その中で学んだことを書き記したものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解らない ・いろいろある ・なぜパンを投げなくてはいけないんだろう 	<p>1-10節を読む。</p> <p>とにかく話させ、それについて説明や解説はしない。本時の終わりに、わからなかったことが少しでもわかるようになっていれば、本時を行った意味があったということになる。</p> <p>私たちが学ぶべき知恵があることを感じ取らせたい。</p>
課題探究	6分	<p>9節を一緒に詳しく見ていきましょう。</p> <p>楽しいことをしなさいとあります。皆さんが今楽しいことは、例えばどんなことですか。</p> <p>神様は、それを、いいよ、やりなよと言っておられるのです。</p> <p>その後、神の裁きを受けることを知りなさいとあります。これはさっきまでの話と、どうつながるのでしょうか。</p> <p>先生は、「程度」を言っているのだと思います。</p> <p>自由に楽しいことをしていいけど、し過ぎたら、自分を傷つけたり、人を傷つけるからだめだよと言っているのです。</p> <p>それでは1節を考えてみましょう。</p> <p>パンを、水ですから、川とか、湖とかに投げたらどうなるでしょう。</p> <p>それをしたらどうなると聖書は言っていますか。どういう意味でしょうか。</p> <p>魚をたくさん取るためには撒き餌をします。後でたくさん獲るために、今、無駄に思えるようなことであっても、必要なことがあります。それを怠らないでしましよと聖書は言っているのです。</p> <p>あなたの生涯は自由に使っているのです。そのうえで、聖書は、将来大漁を得られる「自由の良い使い方」があると私たちに言っています。</p> <p>暗誦聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バトスピ ・デュエマ ・DS ・解らない。 ・魚が食べちゃう。 ・腐る。 ・なくなる ・後で、見出す。 ・わからない 	<p>新改訳では「男」となっているが、口語訳は「人」である。女の子もいるので、「人」で話を進める。現実の話を取っていることが分からない可能性がある。必要に応じて、自分の小さい時のことなどを話していめーじをたすける。</p> <p>一区切りずつ挙げてもらい、それをまず主は肯定していることを伝える。</p> <p>明らかに矛盾に見えるので、おそらく大人でもわからないのが普通である。</p> <p>良いこともやり過ぎれば毒になるし、毒でも僅かなら薬になる。</p> <p>煙草でガン、不摂生でメタボなど、例をいくつか挙げたい。</p> <p>時間の都合でほかの箇所に触れられないことも合わせ伝えておいていいだろう。</p> <p>ただコップの水に入れたらふやけるだけである。ここで脱線するのは時間の無駄なので、具体的イメージを教師側から示す。</p> <p>予備知識がなければ、これは解らないだろう。</p> <p>撒き餌は、説明が必要である。</p> <p>9節で扱った内容を意識しながら説明したい。</p>
まとめ	2分			<p>187号のテーマからの反映。</p>